

AQ7280 新 OTDR ユニット

Multi task touch module
One OTDR

「AQ7280 OTDR」シリーズは、光ファイバーの長さや損失の測定、障害箇所の特定に使用される測定器です。

大都市間の幹線系から FTTH (Fiber To The Home) をはじめとするアクセス系まで幅広く光ネットワークの敷設や保守作業に用いられています。脱着可能な OTDR ユニット、マルチタッチスクリーン、マルチタスクなどの機能性や操作性についてユーザーから高い評価をいただいています。

「AQ7280 OTDR」シリーズに、新たに OTDR ユニット 3 モデル (AQ7283J, AQ7283E, AQ7282G) と AQ7282M OTDR 用の光源機能オプションを追加ラインアップしました。

【主な特徴】

■ AQ7283J OTDR (1310/1383/1550/1625 nm)

- 図 1 は、シングルモード光ファイバー (SMF) の波長特性を示しています。従来の SMF には OH 基 (水酸基) が含まれるため、波長 1383 nm 付近の光が吸収され光損失が非常に大きくなります。一方、低 OH で製造された SMF では光損失が抑えられています。AQ7283J は、波長 1383 nm の光源を搭載しており、この波長付近の光損失の確認や評価に有効なモデルです。
- 光ファイバーおよびケーブル製造工程の検査試験や、CWDM ネットワークを導入検討する際の通信ネットワーク回線の現場確認にお使いいただけます。
- 図 2 は、低 OH で製造された SMF と従来の SMF を AQ7283J にて測定した OTDR 測定波形を示しています。

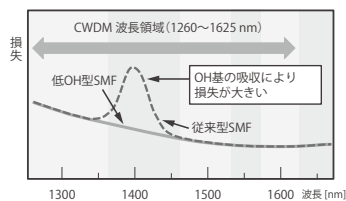


図 1 SMF の波長特性

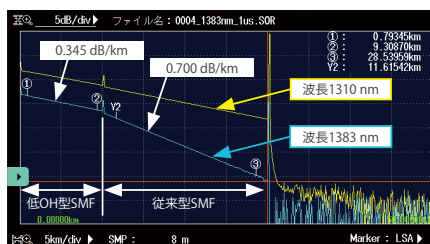


図 2 AQ7283J OTDR 波形

■ AQ7283E OTDR (1310/1550 + 1625 nm フィルター付)

- 1625 nm ポートには現用光カットフィルターを内蔵



AQ7280 OTDR シリーズ

しており、通信が行われている光ファイバー線路 (現用回線) の測定が可能です。

- 中心波長 1625 nm ± 10 nm を保証し、使用波長範囲が限られる 10GE-PON の保守にも対応します。

■ AQ7282G OTDR (1310/1490/1550 nm)

- 波長 1490 nm の測定が必要とされる FTTH 線路等の敷設確認用にお使いいただけます。
- 波長 1625 nm の光源を搭載した 4 波長モデル AQ7283K と比較して、導入時のコストを低減します。

■ AQ7282M OTDR 用光源機能オプション

- マルチモードファイバー (MMF) 用の安定化光源機能を搭載しました。
- MMF 線路の損失測定にお使いいただけます。

【主な仕様】

■ AQ7283J, AQ7283E, AQ7282G

形名	波長 (nm)	EDZ (m)	ADZ (m)	DR (dB)
AQ7283J	1310 ± 25	0.7	3.5	40
	1383 ± 2		4	37
	1550 ± 25		4	38
	1625 ± 25		4	37
AQ7283E	1310 ± 25	0.7	3.5	40
	1550 ± 25		4	38
	1625 ± 10		4	37
AQ7282G	1310 ± 25	0.7	3.5	36
	1490 ± 15		4	34
	1550 ± 25		4	34

※ EDZ: イベントデッドゾーン, ADZ: アッテネーションデッドゾーン (代表値), DR: ダイナミックレンジ

■ AQ7282M OTDR 用光源機能オプション

- 波長 : 850/1300 ± 30 nm
- 光出力パワー : -20 dBm 以上
- 出力パワー安定度 : ± 0.15 dB

問い合わせ先: 横河メータ&インスツルメンツ (株)

カスタマサポートセンター

TEL: 0120-137-046

FAX: 0422-52-6013

E-mail: tmi-cs@csv.yokogawa.co.jp